

Ⅲ 財務諸表（要約版）

1 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	31,020	固定負債	33,027
有形固定資産	28,378	資産見返負債	797
無形固定資産	60	長期借入金	6,170
投資その他の資産	2,582	移行前地方債償還債務	19,871
流動資産	7,607	引当金	6,159
現金・預金	3,812	長期リース債務	31
未収金	3,655	流動負債	5,164
貸倒引当金	▲ 67	1年以内返済予定長期借入金	583
医薬品等	191	1年以内返済予定移行前地方債債務	1,690
その他	17	1年以内返済予定リース債務	114
		未払金	2,081
		賞与引当金	557
		その他	139
		負債合計	38,191
		純資産の部	金額
		資本金	306
		利益剰余金	132
		純資産合計	437
資産合計	38,628	負債・純資産合計	38,628

2 損益計算書

（単位：百万円）

科目	金額	計画	平成23年度
経常収益(A)	22,225	22,708	21,749
医業収益	16,250	16,747	15,784
介護老人保健施設収益	412	434	431
運営費負担金収益	5,100	5,100	5,100
その他経常収益	463	426	434
経常費用(B)	21,892	22,490	21,809
医業費用	20,088	20,614	19,982
給与費	10,800	11,085	10,644
材料費	4,114	4,195	4,077
減価償却費・資産減耗費	2,304	2,338	2,411
経費	2,797	2,923	2,784
研究研修費	71	73	66
雑支出	2	-	-
介護老人保健施設費用	429	466	473
一般管理費	346	346	319
財務費用	647	684	678
その他経常費用	383	380	357
経常損益(A-B)	333	218	▲ 60
臨時損益(C)	▲ 265	▲ 6	▲ 275
当期純損益(A-B+C)	68	212	▲ 335

3 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	2,765
医業等収入によるキャッシュ・フロー	16,786
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー	5,100
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー	221
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー	▲ 15,945
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,754
利息の支払額	▲ 643
II 投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲ 4,271
III 財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	▲ 641
IV 資金減少額(D=A+B+C)	▲ 2,147
V 資金期首残高(E)	5,959
VI 資金期末残高(F=D+E)	3,812

4 行政サービス実施コスト計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	5,307
損益計算書上の費用	22,181
(控除)自己収入等	▲ 16,874
II 引当外退職給付増加見積額	129
III 機会費用	2
IV 行政サービス実施コスト	5,438

(参考) 財務諸表の科目の説明

1 貸借対照表

固定資産

- 有形固定資産・・・土地、建物、医療用器械など
- 無形固定資産・・・ソフトウェア、電話加入権など
- 投資その他の資産・・・修学資金貸付金など

流動資産

- 現金及び預金・・・現金、預金
- 未収金・・・医業収益に対する未収金など
- 貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため回収不能見込額を引当
- 医薬品等・・・医薬品、診療材料、貯蔵品の期末棚卸在庫
- その他・・・前払保険料、賃借料の前払いなど

固定負債

- 資産見返負債・・・償却資産に充当した補助金等相当額
- 長期借入金・・・県からの借入金
- 移行前地方債償還債務・・・法人移行前に借り入れた地方債の償還債務額
- 引当金(退職給付引当金)・・・将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金
- リース債務・・・リース取引に係る債務

流動負債

1年以内返済予定長期借入金・・・長期借入金のうち1年以内に支払期限が到達する債務
1年以内返済予定移行前地方債償還債務・・・移行前地方債償還債務のうち1年以内に支払期限が到達する債務

未払金・・・・・・・・・・医業費用等及び器械・備品など償却資産に係る未払債務
1年以内支払予定リース債務・・・リース債務のうち1年以内に支払期限が到来する債務
未払費用・・・・・・・・1年以内返済予定移行前償還債務及び長期借入金に係る未払利息
賞与引当金・・・・・・・・支給対象期間に基づき定期的に支給する役員及び職員賞与の引当金
その他・・・・・・・・預り金、仮受金など

純資産

資本金・・・・・・・・設立団体である県からの出資金
利益剰余金・・・・・・・・業務に関連して発生した剰余金の累計額

2 損益計算書

医業収益・・・・・・・・医業（入院診療、外来診療など）に係る収益
介護老人保健施設収益・・・介護老人保健施設の営業活動に係る収益
運営費負担金収益・・・・高度医療、政策医療等に要する経費に係る県の負担金
その他の経常収益・・・・補助金収益、資産貸付収益など
医業費用・・・・・・・・医業（入院診療、外来診療等）に要する給与費、材料費、委託費、減価償却費、研究研修費など
介護老人保健施設費用・・・介護老人保健施設の営業活動に係る費用
一般管理費・・・・・・・・本部組織に係る給与費、経費など
財務費用・・・・・・・・借入金の支払利息
その他の経常費用・・・・控除対象外消費税など
臨時損益
臨時損失・・・・・・・・減損損失などに係る費用

3 キャッシュ・フロー計算書

業務活動に係るキャッシュ・フロー
医業等収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・医業及び介護老人保健施設の営業活動に係る収入
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・県からの運営費負担金に係る収入
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・国、県等からの補助金、寄付金など
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・人件費、医薬品等の材料費購入に係る支出
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・上記以外の業務活動に係る収入、業務活動に係る支出
投資活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・固定資産の取得、除却に係る支出など
財務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・長期借入れによる収入、移行前地方債償還債務の償還による支出など

4 行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から医業収益などの自己収入を控除したもの

引当外退職給付増加見積額

事業年度末に在籍する県からの派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除したもの

機会費用

県からの出資額を一定の利回りで運用した場合に想定される利息相当額等

IV 財務諸表の要点

1 財務諸表の概況

(経常収益)

平成24年度の経常収益は22,225百万円と、前年度と比較して476百万円増加しました。主な理由は、次のとおりです。

(1) 入院収益が、前年度に比較して350百万円増加したこと

- 入院患者数はこども病院を除く4病院で減少し、全体として前年度より減少したものの、平成24年度の診療報酬改定がプラス改定であったこと、診療体制の強化により各病院とも新たな施設基準を積極的に取得したこと、須坂病院で7対1看護基準による通年診療となったこと、須坂、木曽病院でDPC係数が上がったこと、こども病院で他病院との連携の強化などにより高度小児医療を必要とする患者の受入れが増加したことなどから全病院で一人当たり入院単価が大きく増加し、全体の入院収益が増加

(2) 外来収益が、前年度に比較して118百万円増加したこと

- 外来患者数はこころの医療センター駒ヶ根、こども病院では増加、須坂、阿南、木曽病院では減少し、全体として前年度より減少したものの、入院同様各病院とも1人当たり診療単価が増加したことにより外来収益が増加

(経常費用)

平成24年度の経常費用は21,892百万円と、前年度と比較して83百万円増加しました。主な理由は、次のとおりです。

(1) 医業費用が前年度に比較して105百万円増加したこと

- 須坂病院では超過勤務の削減等により前年度より給与費は減少したが、こころの医療センター駒ヶ根、木曽病院、こども病院の職員体制強化により、給与費全体では増加
- 医療機器の減価償却期間満了などにより減価償却費が減少

(2) 移行前地方債償還債務に係る支払利息の減少に伴い財務費用が31百万円減少したこと

(損益)

平成24年度の経常損益は333百万円の経常利益となり、前年度と比較して393百万円の改善となりました。

また、阿南病院の改築に伴って寄贈された美術品の受贈益、旧病棟等の減損損失などに係る臨時損益▲265百万円を計上し、その結果、当期純損益は68百万円の純利益となりました。

(資産)

平成24年度末現在の資産合計は38,628百万円と、前期末と比較して255百万円の増加となりました。これは、減価償却費が2,361百万円、阿南病院施設の解体撤去に伴う減損損失が276百万円生じた一方、阿南病院耐震化整備事業、こども病院全身用バイブレーション血管撮影装置導入等に伴い有形固定資産が2,133百万円、定期預金を含む現金預金が353百万円、未収金が280百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債)

平成24年度末現在の負債合計は38,191百万円と、前期末と比較して187百万円の増加となりました。これは、移行前地方債償還債務が1,883百万円、リース債務が172百万円それぞれ減少した一方、建設改良事業による長期借入金が1,438百万円、阿南耐震化整備事業補助

金等により資産見返補助金等が396百万円、退職給付引当金等の引当金が222百万円、未払金が199百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

2 施設等投資の状況

(資本的収支状況)

(単位:百万円)

項 目		平成24年度 実 績 (a)	平成24年度 計 画 (b)	実績-計画 (a)-(b)	備 考
収入	長期借入金	1,654	1,879	▲ 225	
	その他収入	424	425	▲ 1	
	計	2,077	2,304	▲ 227	
支出	建設改良費	2,080	2,307	▲ 227	
	うち 施設整備事業	1,207	1,298	▲ 91	阿南病院耐震化事業の年度割事業費の変更による事業費減
	うち その他建設改良事業	148	206	▲ 58	
	うち 医療器械等整備事業	725	803	▲ 78	
	貸付金	59	66	▲ 7	
	移行前地方債償還債務元金償還金	1,883	1,883	0	
	長期借入金元金償還金	215	215	0	
	計	4,237	4,256	▲ 19	

(1) 主な施設整備事業

阿南病院耐震化整備事業 平成24年度決算額 1,207百万円

(2) 主なその他建設改良事業

阿南病院 蓄電池盤改修工事
 木曽病院 空調自動制御設備更新工事、看護師宿舎改修工事
 こども病院 北棟給水配管更新工事
 木曽看護老人保健施設 ナースコール設備等更新工事

(3) 主な医療器械等整備事業

須坂病院 血液撮影装置
 木曽病院 内視鏡システム
 こども病院 全身用バイプレーン血管撮影装置